

デジタルフォトフレーム

取扱説明書



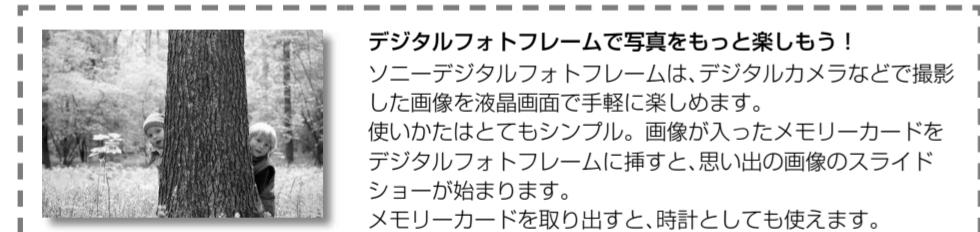
DPF-C1000/C800/C700/C70A/C70E

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。

この取扱説明書と別紙の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



デジタルフォトフレームで写真をもっと楽しもう！
ソニーデジタルフォトフレームは、デジタルカメラなどで撮影した画像を液晶画面で手軽に楽しめます。
使いかたはとてもシンプル。画像が入ったメモリーカードをデジタルフォトフレームに挿すと、思い出の画像のスライドショーが始まります。
メモリーカードを取り出ると、時計としても使えます。

本書での説明について

- 特に説明が必要な所を除き、本書のイラストや画面にはDPF-C1000を使用しています。
- また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。
- 対象のデジタルフォトフレームはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。
- 地域によって、お買い上げ時の日付や時計表示形式が異なります。
- 本書では、特に説明が必要な所を除き、メモリーカードとUSBメモリーをまとめて「メモリーカード」と記します。

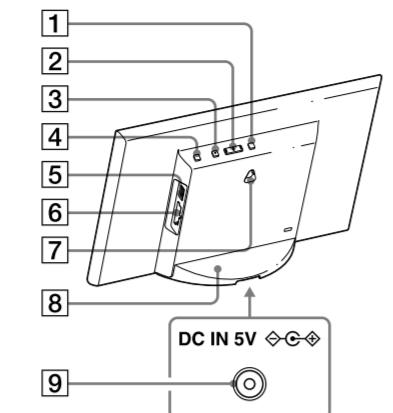
同梱品を確認する

- デジタルフォトフレーム(1)
- スタンド(1)
- ACアダプター(1)
- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)
- 製品登録のおすすめ*
- *ワールドワイドモデルには同梱されていません。

準備する

各部の名前

本体背面



- 1 MENU(メニュー)ボタン
- 2 ←/→(左/右)ボタン
- 3 ENTER(決定)ボタン
- 4 ⌂(電源)ボタン
- 5 USB A(端子(DPF-C1000/C800/C700のみ))
- 6 メモリーカードスロット
- 7 壁掛け用のネジ穴
- 8 スタンド
- 9 DC IN 端子

本機で使えるメモリーカード/USBメモリー

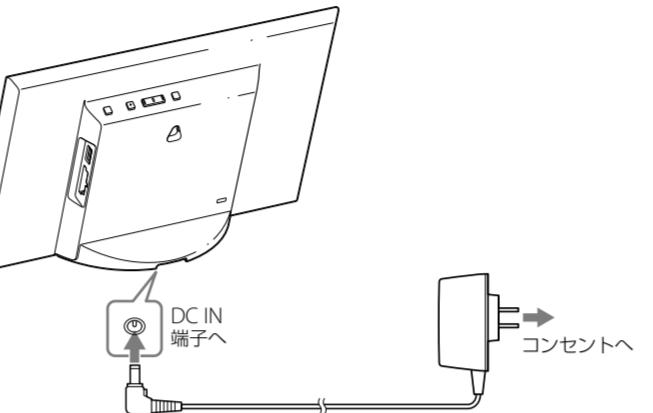
本機では、デジタルカメラなどから抜いたメモリーカード（「メモリースティックデュオ」、またはSDメモリーカード）や、USBメモリーをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。

使えるカード	アダプターの取り付け
「メモリースティックデュオ」（マジックゲート非対応／マジックゲート対応） 「メモリースティックPROデュオ」 「メモリースティックPRO-HGデュオ」	不要
「メモリースティックマイクロ」（M2）	「M2」アダプター（デュオサイズ）
SDメモリーカード/SDHCメモリーカード	不要
miniSDカード/miniSDHCカード	miniSD/miniSDHCアダプター
microSDカード/microSDHCカード	microSD/microSDHCアダプター
USBメモリー(DPF-C1000/C800/C700のみ)	

- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。
- ・取り付けネジが緩んで本体が落さないように、ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- ・メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所で行ってください。
- ・本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- ・DCコードを本機に接続してから壁にかけ、その後にACアダプターをコンセントにつないでください。
- ・取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・壁掛け用時に本体ボタンを操作すると落下のおそれがあります。本体をしっかりと支えながら、充分に注意しておこなってください。

② 電源を入れる

ACアダプターをつなぐ

ACアダプターを図のようにつなぐ。
自動的に電源が入ります。初めてお使いになるときは⇒③初期設定をするへお進みください。一定時間たつと、デモンストレーション画面が始まります。
初期設定が終わっているときは⇒「使ってみよう」へお進みください。

電源を入／切する

電源を入れるときは

⌂(電源)ボタンを押します。

電源を切るときは

⌂(電源)ボタンを電源が切れるまで押したままにします。

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ・長時間使わないときは、使い終わったら、電源ボタンを押して電源を切り、ACアダプターを本機のDC IN 端子から抜き、ACアダプターをコンセントから取りはずしてください。
- ・ACアダプターのプラグを金属類ゴシゴシさせないでください。故障の原因になります。
- ・ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ・電源が入っている状態で、ACアダプターをコンセントやDC IN 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。
- ・付属のACアダプターは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

③ 初期設定をする

はじめてお使いになる場合は、画面にしたがって初期設定をしてください。後から設定を変更することもできます。

1 [MENU]を押す。

初期設定画面が表示されます。

←/→で青色の枠を動かし、[ENTER]を押すとその項目の設定ができます。現在の設定には黄色の下線が表示されています。

2 日付を設定する。

- ① 年、月、日を、それぞれ←/→と[ENTER]で設定する。
→を押して設定する年や月、日を選び、[ENTER]を押します。←/→で数字を変更し、[ENTER]を押して決定します。
- ② →を押して画面右下の「OK」を選び、[ENTER]を押す。



・年月日の表示形式を変更することができます。

DD-MM-YYYY: 日-月-年
MM-DD-YYYY: 月-日-年
YYYY-MM-DD: 年-月-日

3 手順2で日付を設定したのと同様に、時刻を設定する。

- ① 時、分、秒を、それぞれ←/→と[ENTER]で設定する。
- ② →を押して画面右下の「OK」を選び、[ENTER]を押して決定する。



・時刻の表示形式を変更することができます。

AM/PM 12H: 12時間表示
24H: 24時間表示

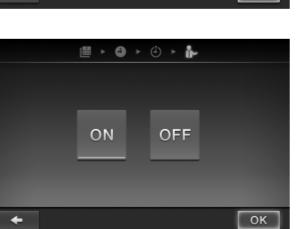
4 必要に応じてタイマーを設定する。

- 指定した時間に本機が自動的に電源を入／切するように設定できます。
設定する場合⇒裏面の「タイマーを設定する」の手順3.4を参考にして、設定してください。
- 設定しない場合⇒→を押して画面右下の「OK」を選び、[ENTER]を押す。



5 デモモード設定を←/→で選び、[ENTER]を押して決定する。

- ON: デモンストレーション画面が表示されます。
- OFF: 時計画面が表示されます。



6 →を押して画面右下の「OK」を選び、[ENTER]を押す。

これで初期設定は終わりです。
デモモード設定が「OFF」の場合は、しばらくすると自動的に時計画面が表示されます。

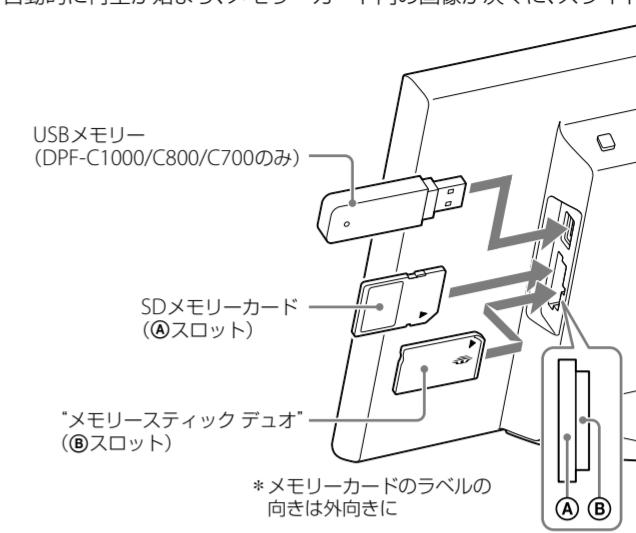
使ってみよう

スライドショーを見る

メモリーカードまたはUSBメモリーを差し込む。

本体背面から見て、メモリーカードまたはUSBメモリーの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れてください。

自動的に再生が始まり、メモリーカード内の画像が次々に、スライドショー形式で表示されます。



■ ⑥、⑧スロットに同時にメモリーカードを挿入すると、正常に動作しません。

■ すでにメモリーカードまたはUSBメモリーが挿入されているとき、空いているスロットや端子にメモリーカードまたはUSBメモリーを挿入すると、後から挿入したメモリーカードまたはUSBメモリーの再生に切り替わります。

スライドショー表示を一時停止するには(1枚表示)

[ENTER]を押します。←/→で前後の画像を表示することができます。
スライドショーに戻すときは、もう一度[ENTER]を押します。

メモリーカードを取り出すには

- ① [MENU]を押してメニュー画面を表示する。
- ② メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ引き抜く。
デモモード設定が「OFF」の場合は、時計画面が表示されます。

■ スライドショー再生中は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードの記録内容を破損する場合があります。

お好みの画面表示に変える

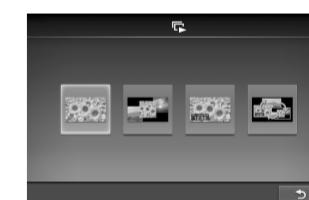
スライドショーや時計の表示スタイルを変えたり、画像をインデックス表示したりすることができます。

① スライドショーの表示スタイルを変える

1 [MENU]を押す。



2 ←/→で①(スライドショー表示)を選び、[ENTER]を押して決定する。

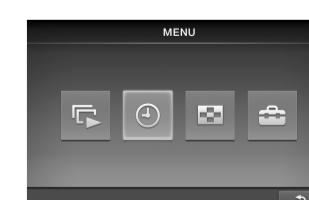


3 ←/→でスライドショー再生の表示スタイルを選び、[ENTER]を押して決定する。

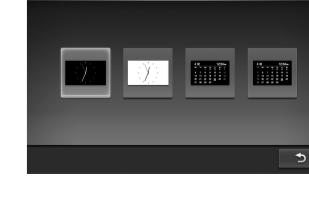
シングル表示	1つの画面を、次々と表示します。
マルチ表示	複数画像を用いて表示します。
時計表示	現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示します。
ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り替えながら表示します。

④ 時計の表示スタイルを変える

1 [MENU]を押す。



2 ←/→で④(時計表示)を選び、[ENTER]を押して決定する。



3 ←/→で好みの時計またはカレンダースタイルを選び、[ENTER]を押して決定する。

裏面へづく

■ インデックス表示する

メモリーカード内の画像をサムネイルの一覧で見ることができます。

• サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。

1 [MENU]を押す。



画像を1枚だけ表示するには(1枚表示)

インデックス画面で、 \leftarrow/\rightarrow で希望の画像を選び、[ENTER]を押します。選んだ画像が1枚表示されます。

1枚表示中に[ENTER]を押すと、スライドショー再生が始まります。

■ 設定を変更する

1 [MENU]を押す。



2 \leftarrow/\rightarrow で [設定] を選び、[ENTER]を押して決定する。

3 「設定項目一覧」を参照し、 \leftarrow/\rightarrow 、[ENTER]を使って設定する。

4 [MENU]を押して終了する。

• 前の画面に戻るには、画面右下の を選んで[ENTER]を押します。

設定項目一覧

スライド ショー設定	速い間隔で切り替わります(約10秒)。 中くらいの間隔で切り替わります(約30秒)。 遅い間隔で切り替わります(約60秒)。
画像表示方法	画像全体をそのまま表示します。 (上下左右に黒い帯が表示されることがあります。) 画像の縦横比はそのまま、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。
エフェクト	センターコロス: 前の画像を十字型に開いて、画像を切り替えます。 ブラインド縦: ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り替えます。 ブラインド横: ブラインドを横に引くように、画像を切り替えます。 フェード: 2枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り替えます。 ワイプ: 一方향へ前の画像を上から覆うように、画像を切り替えます。 ランダム: 上記の5種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り替えます。
日時設定	日付を設定します。画面下の を選んで、[ENTER]を押して確定します。 時間を設定します。画面下の を選んで、[ENTER]を押して確定します。
画面の 明るさ設定	画面が暗めになります。 画面がやや暗めになります。 画面が最も明るくなります。
タイマー 設定	2種類のタイマーが設定できます。 詳細は「タイマーを設定する」をご覧ください。
デモモード 設定	ON: メモリーカードが挿入されていないときは、デモンストレーション画面が表示されます。 OFF: メモリーカードが挿入されてないときは、時計画面が表示されます。

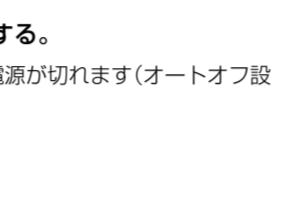
初期化設定	YES	設定をすべて消去し、工場出荷時の状態に戻します。
	NO	初期化せずにメニュー画面に戻ります。

タイマーを設定する

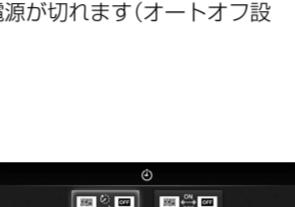
1 [MENU]を押し、 \leftarrow/\rightarrow で [設定] を選び、[ENTER]を押して決定する。



2 \leftarrow/\rightarrow で [①] (タイマー設定) を選び、[ENTER]を押して設定する。



3 \leftarrow/\rightarrow で設定するタイマーの種類を選び、[ENTER]を押して決定する。



[本機を何も操作しないまま指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます(オートオフ設定)。]

[指定した時刻に電源を入／切します(自動電源ON/OFF設定)。]

4 タイマーの設定時間を指定する。



オートオフ設定の場合

① \leftarrow/\rightarrow を押して時間を探し、[ENTER]を押して決定する。

② \leftarrow/\rightarrow を押して画面下の を選び、[ENTER]を押す。



自動電源ON/OFF設定の場合

① 指定した時刻に自動で電源を入れる場合、 \rightarrow を押して [ON] を選び、[ENTER]を押して決定する。

② 指定した時刻に自動で電源を切る場合、 \rightarrow を押して [OFF] を選び、[ENTER]を押して決定する。

③ 指定した時刻に自動で電源を切る場合、 \rightarrow を押して [OFF] を選び、[ENTER]を押して決定する。

④ 電源を切る時刻を設定する。

⑤ 電源を切る時刻を設定する。

⑥ \rightarrow を押して画面下の を選び、[ENTER]を押す。



5 [MENU]を押して終了する。

• オートオフ設定と自動電源ON/OFF設定は同時に設定できません。後に設定したタイマーが有効になります。

その他

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源が入らない。

• 電源プラグは正しく差し込んでありますか?
→ 正しく接続してください。

何も反応しない。

→ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。

画面に画像が表示されない。

• メモリーカードは正しく挿されていますか?

→ 正しく挿してください。

• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか?

→ 画像の入っているメモリーカードを入れてください。

→ 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。(「主な仕様」参照)

• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか?

→ DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

一部の画像が表示されない。

• インデックス表示で画像が表示されていますか?

→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。

→ DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

→ コンピューターでファイル名をついたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。

• メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか?

→ 8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。

縦の画像が横に表示される。

→ 縦位置で撮影した回転情報をExif情報に記録できないデジタルスチルカメラで撮影した画像は、横位置で表示されます。

エラー表示

本機の液晶画面に次のようなエラーが表示されたら、以下に従って対処してください。

表示	表示の意味
	コンピューターで作成したJPEGファイルなど、本機が対応していない画像ファイルです。
	本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。
	メモリースティックデュオ、SDメモリーカード、またはUSBメモリーに画像データが入っていないません。
	メモリースティックデュオ、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが破損しています。 → 正常な*メモリースティックデュオ*、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。
	サポートしていないフォーマットの*メモリースティックデュオ*、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが使用されています。 → サポートしている*メモリースティックデュオ*、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。

主な仕様

本体

機種名	DPF-C1000	DPF-C800	DPF-C700	DPF-C70A	DPF-C70E
液晶画面	液晶パネル 10.1型、TFT駆動	8型、TFT駆動	7型、TFT駆動	7型、TFT駆動	
総ドット数	1,843,200ドット 1024×3(RGB)×	1,440,000ドット 800×3(RGB)×	1,152,000ドット 600ドット	336,960ドット 480×3(RGB)×	
有効表示画面	表示アスペクト比 16:10	4:3	16:10	16:10	
実表示エリア	9.2型	7.9型	6.4型	6.4型	
総ドット数	1,628,748ドット 914×3(RGB)×	1,411,344ドット 792×3(RGB)×	1,012,464ドット 712×3(RGB)×	293,940ドット 426×3(RGB)×	
液晶バックライト寿命	20,000時間(バックライトの輝度が半減するまでの時間)				
入出力端子	USB端子(A TYPE, Hi-Speed USB) *メモリースティックPRO* / SDメモリーカード				
表示可能なファイル フォーマット ¹	JPEG DCF 2.0準拠、Exif 2.3準拠、JFIF(4:4:4, 4:2:2, 4:2:0形式のBaseline JPEG) TIFF Exif 2.3準拠				
BMP	1.4, 8, 16, 24, 32ビットWindows形式				
RAW ²	SRF, SR2, ARW2.2(プレビューのみ)				
最大再生画素数 ³	8,000×6,000				
ファイルシステム	FAT12/16/32				
画像ファイル名	DCF形式、半角英数字256文字 8階層以下				
最大画像ファイル数	4,999枚				
電源	DC IN端子入力、DC 5 V				
消費電力	ACアダプター 最大消費電力 ター含む 標準消費電力 本体のみ 最大消費電力	9.5 W 6.2 W 7.5 W	9.0 W 5.8 W 7.0 W	8.5 W 5.4 W 6.5 W	3.6 W 3.6 W 3.0 W
動作温度		5°C~35°C			
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	262.1 mm × 180.6 mm × 61.6 mm	218.4 mm × 172.4 mm × 61.6 mm	188.8 mm × 132.4 mm × 61.6 mm	188.8 mm × 132.4 mm × 62.4 mm	
壁掛け時	262.1 mm × 180.6 mm × 27.3 mm	218.4 mm × 172.4 mm × 27.3 mm	188.8 mm × 132.4 mm × 27.3 mm	188.8 mm × 132.4 mm × 28.5 mm	
質量	515 g	449 g	283 g	304 g	317 g
同梱品	表面の同梱品を確認する				

ACアダプター

型名	AC-P5022
定格入力	AC100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz, 0.4 A
定格出力	DC 5 V, 2.2 A

外形寸法
(幅×高さ×奥行き)

約79 mm × 34 mm × 65 mm
(最大突起部のぞく)

質量 約105 g

その他の仕様については、ACアダプターのラベルをご覧ください。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。